

# 上白根地区

## きらっとあさひプラン

第3期 旭区地域福祉保健計画

平成28年度～32年度

上白根地区は、緑区との区境に位置し、中堀川の源流域の北東側が大きく造成されてできた緩やかな南東斜面で、市営ひかりが丘住宅及びUR西ひかりが丘団地が連なっています。

人口は減少傾向にあり、世帯当たり世帯人員は旭区の中で最も少なくなっています。人口構成では、団塊世代の特出が見られます。



### ■めざす地区の姿

- 誰もが生き生きと安心して住み続けられるまち
- みんなが声をかけ合い、助け合うまち

### ■目標A

運動する区計画の柱 1 地域の福祉力アップ

## 災害に備える

### ■具体的な取組

- 地域防災拠点や連合・各自治会で防災訓練を行い、日頃から災害に備える。
- 連合、各自治会等により防災講演会を行い、住民の防災意識を高めていく。
- 日頃の地域活動のなかで、災害時要援護者を把握していく。
- 地域の障害者施設と日頃から連携して取り組んでいく。



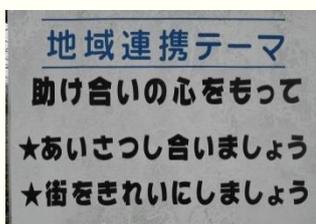
### ■目標B

運動する区計画の柱 1 地域の福祉力アップ

## 仲間づくり、多世代交流の機会を増やし、健康づくりを進める

### ■具体的な取組

- まずは自分の方から挨拶、声かけをして、隣近所の交流を深める。
- ラジオ体操の輪を広げ、多世代交流を進める。
- 常日頃から自治会内で交流を活発にし、引きこもり防止を図る。
- 元気な高齢者のサークル活動等を推進し、健康増進・介護予防を図る。
- 高齢者が外に出る機会を増やし、健康づくりの意識を高めていく。
- 高齢者の昼食会、ふれあいサロン等で住人同士の交流を深めていく。



■目標C

## 高齢者・障害者・子どもの見守り、地域のつながり

■具体的な取組

- 電話や訪問などにより、ひとり暮らし高齢者等の引きこもり、孤立化を防ぐ。
- 地域のいろいろな人と知り合えるように、いつでも立ち寄り、憩える場所づくりを進め、誰もが気軽に相談できる顔の見える関係づくりを進める。
- 地域にある障害者施設の行事に参加したり、障害のある人が働く店舗を利用して、地域で生活する障害のある人との交流を図る。
- 日常的に子どもたちや高齢者・障害のある人に声を掛け、話しかけて、みんなで見守っていく。
- 高齢者が子どもたちに働きかけ、触れ合う機会をつくり、子どもたちの見守りを進める。
- 親子が参加、楽しみながら子育ての悩みを打ち明けられる行事や活動を広げていく。



■目標D

## 助け合いの仕組みづくり

■具体的な取組

- 地域の学校の（生徒の）ボランティア活動を地域で応援していく。
- 認知症を学び、地域で高齢者を見守るような風土づくりを行う。
- 外国人居住者との交流を図り、地域の情報の共有化を進める。
- 虚弱な高齢者の支援活動の輪を広げ、未来に繋げる仕組みづくりを進める。



## ひかり福祉フェスタ

(毎年11月第3日曜開催)

**地域福祉に関わる団体の繋がりを豊かにするためのお祭り**

2003年11月～

**実行委員団体:** 旭児童ホーム・偕恵(シグナル・辻のあかり)・カブカブ

上白根地区社会福祉協議会・サークルそらまめ・薬膳料理の会・ひかりが丘学童保育所  
白根学園(社会就労センターのぞみ・しらねのりげんき・麦の丘)

**協力団体:** サンライズヒル横浜・椿寿・ケアホーム横浜・みんなの家・老健四季の森

ヴィラ横浜・ヴィラ桜ヶ丘・保健活動推進員・CFSコーポレーション・ヤクルト

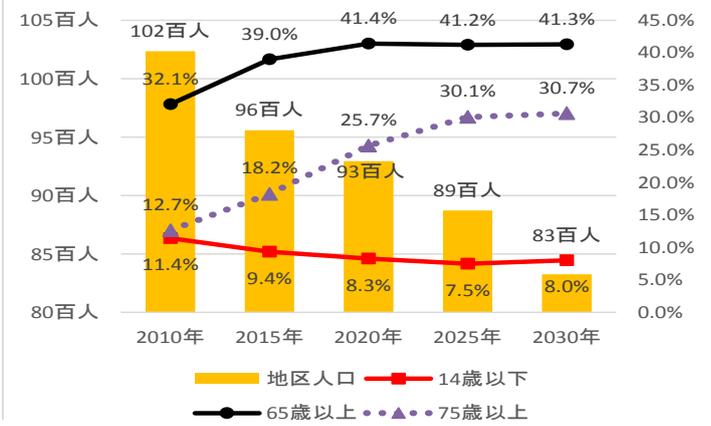
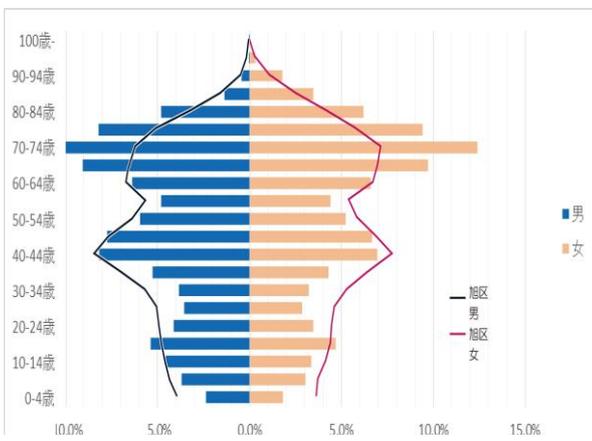
**ボランティア:** 神輿同好会・神奈川県立横浜旭陵高等学校



## ■人口データに見る地区の特徴

- ・人口ピラミッド 2015 年 3 月を見ると、旭区（折れ線）に比べ団塊世代の層の比率が特になくなっていて、一方、20 歳～39 歳の層の比率が低くなっています。
- ・人口の推移では、この 5 年間で約 700 人減少しています。高齢化率は 39.0%で、区内でも高い地区のひとつです。
- ・世帯数はこの 5 年間で概ね 4900 戸前後で推移しています。また、世帯人員は 2015 年で 1.93 人/戸となっています。
- ・地区の将来人口の予測では、2020 年で約 9300 人、2025 年で約 8900 人と見込まれます。また、高齢化率は 2020 年で約 41.4%、2025 年で約 41.2%となり、高齢化率は 2020 年でピークをむかえると見込まれます。

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目が地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。



## ■2期計画の振り返り

- ・災害への備え：防災講演会、防災訓練、障害者施設合同での特別避難所訓練、東日本震災被災者の体験談と映画上映会
- ・高齢者障害者の見守り：ひかりサポート運営、一人暮らし高齢者の見守り、エンディングノート勉強会
- ・外国人居住者との共生：インターナショナルサロン
- ・ボランティア活動：上白根中学校の福祉教育に協力、上白根中学校ボランティア部の活動
- ・高齢者の仲間づくり：高齢者昼食会、サロン「いこう」、「つどい」、地区リハビリ教室「あかね会」
- ・地域で子どもを育てるための取組：親子サロンしゃべり場、ログハウス未就学児親子への利用促進

## ■地区の福祉課題

### 【高齢者】

- ・地域に高齢者が多く住んでおり、災害が起きたときが心配。
- ・ひとり暮らしで行くところがなく、ひとりでテレビを見るだけの高齢者が多い。
- ・高齢となって気力が萎え、外に一步踏み出せない人がいる。
- ・高齢者の中には体力の衰えはあるものの意欲は大いにある人も少なくない。

### 【障害者】

- ・障害者施設と地域の交流が少なく、施設が行っている行事が地域にあまり知られていない。
- ・障害者施設のボランティアを地域の人から募りたい。
- ・カプカブに立ち寄る人の中で、生活面で心配な人は地域包括支援センターや各相談窓口等に繋いでいる。困った人が駆け込める先を増やしていきたい。
- ・学校と福祉施設との交流を深めたい。

### 【子ども】

- ・地域に子どもが減ってきている。

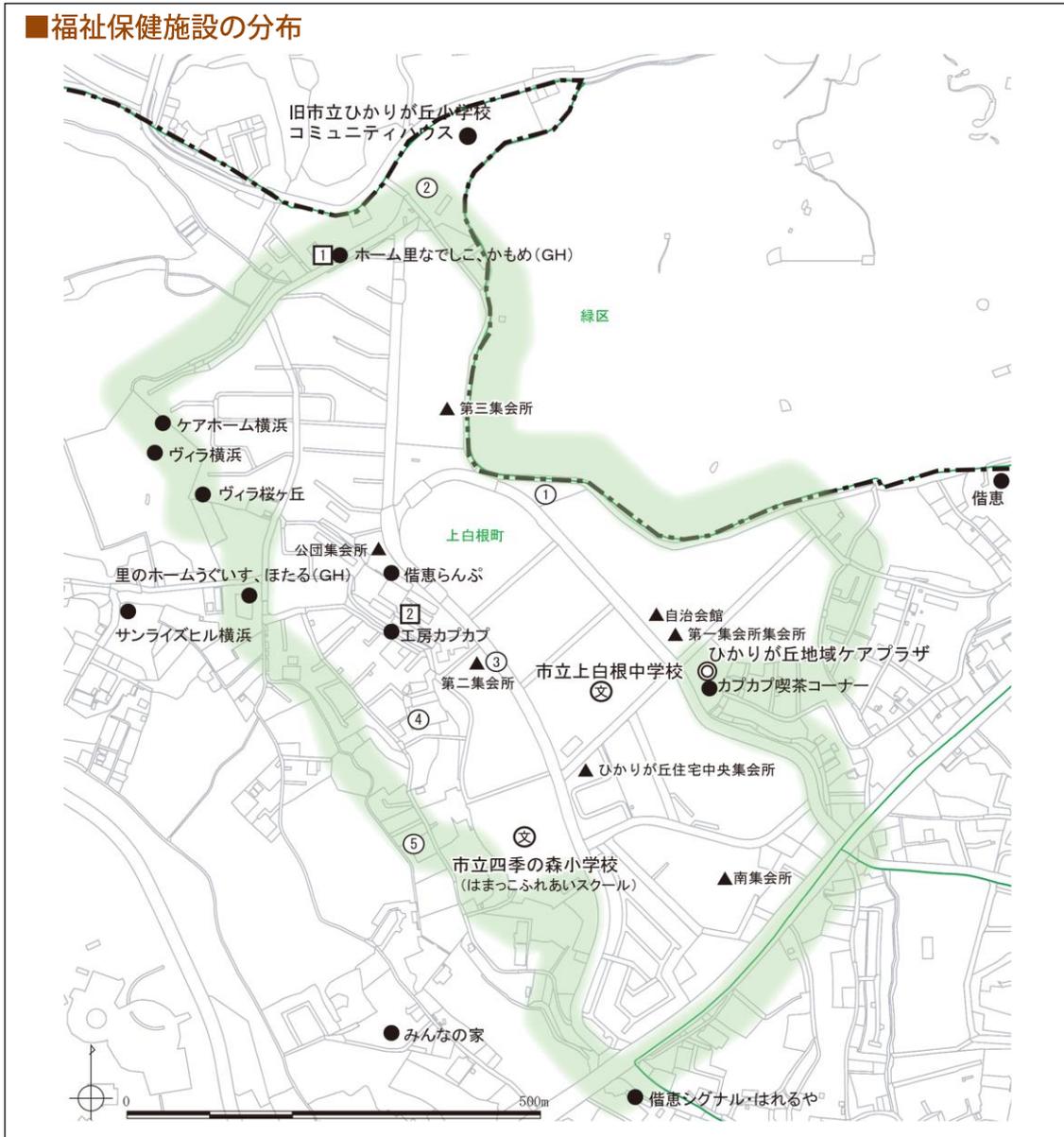
### 【地域活動の担い手不足】

- ・住民の高齢化が進み、自治会やボランティア活動の団体の担い手がいなくなっている。

### 【地域の繋がり】

- ・団地等の新しい入居者は自治会に入らない人もいて、住人の様子が分からない。隣組意識が芽生えない。
- ・団地は築 45 年経っており、入居者は変わっている。昔のことは知らず、地域の繋がりも希薄になってきている。

## ■福祉保健施設の分布



## ■施設リスト

子ども

### 認可保育所

- ① 横浜市立ひかりが丘保育園
- ② 土と愛子供の家保育所第2

### 放課後児童クラブ

- ③ ひかりが丘学童保育所

### 幼稚園

- ④ 四季の森幼稚園

### 児童養護施設

- ⑤ 旭児童ホーム

障害者

### 障害者施設

- ① しらねの里・げんき  
地域活動支援センター(地域作業所)
- ② カブカブ